

<p>種名</p>	<p><b>オオヨシキリ</b>  <u>Acrocephalus arundinaceus</u></p> 													
<p>分類</p>	<p>スズメ目ヒタキ科ウグイス亜科</p>													
<p>特徴</p>	<p>アシ原で大きな口を開けて、行々子、行々子とさえずる鳥。日本には夏鳥として渡来し、北海道から九州までの全国で繁殖する。国外ではユーラシア大陸の温帯で広く繁殖する。</p>													
<p>生活</p>	<p>川や湖沼の岸、休耕田などのアシの草原に主に棲息し、特に水中からアシが生えているような場所を好む。茎から茎へと移動しながら昆虫を捕まえるが、空中へ飛び出して飛んでいる昆虫をフライングキャッチすることもある。オスはアシの枯れ茎や低木の梢で盛んにさえずり、縄張りを宣言する。メスはオスより 10 日程遅れて渡来する。一夫一婦や一夫多妻の場合がある。産卵期は5～8月、卵数は4～6個、抱卵日数は12～14日、巣立ちまで14日程である。</p>													
<p>声</p>	<p>繁殖期には「ギョギョシ、ギョギョシ、ケスケス」というような少し濁った声でさえずる。この声からオオヨシキリを行々子とも呼ぶ。主として日中にさえずるが、最盛期には一晩中さえずり続ける。地鳴きは「ギョ、ギョ」とか「ゲッゲッ」と聞こえ、幼鳥も似た声で鳴く。</p>													
<p>見分け方</p>	<p>体はウグイス類の中ではもっとも大形。オリーブ黄褐色で背面の縦斑や尾の先の白斑はない。</p>													
<p>時期</p>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>(月)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	(月)	-	-	-	4	5	6	7	8	9	-	-	-
(月)	-	-	-	4	5	6	7	8	9	-	-	-		
<p>その他</p>	<p>全長(L)18cm 翼開長(W)26cm</p>													
<p>参考文献：山溪カラー名鑑 日本の野鳥</p>														